

(慢性腎臓病に合併する高尿酸血症に対する尿酸排泄促進治療) に関する 研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：平成 30 年 3 月 7 日 ~ 平成 31 年 12 月 31 日

〔研究課題〕 慢性腎臓病(CKD)に合併する高尿酸血症に対する尿酸排泄促進治療の臨床的有用性に関する検討

〔研究目的〕

CKD を伴う高尿酸血症患者を対象に、ベンズブロマロン製剤での薬剤治療群と対象群（生活指導群）での血清尿酸値低下効果と腎予後（血清クレアチニン値の変化等）について比較検討します。併せて目標血清尿酸値達成度、代謝系への影響についても比較検討する研究です。

〔研究意義〕

CKD 合併高尿酸血症に対する尿酸排泄促進薬ベンズブロマロンの早期薬剤治療介入による高尿酸血症治療効果、腎機能に及ぼす影響および安全性について明らかになれば、予防や治療方針の決定に役に立ちます。

〔対象・研究方法〕

本学の倫理委員会で承認（帝医倫 08-056-2 号）を受けた同一課題名の研究にご参加いただいた患者様の過去 3 年間分の調査票の中で、帝京大学に届いていない分について、各参加施設から送付いただき、これまでのデータと合わせて集計・分析いたします。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部附属病院

〔個人情報の取り扱い〕

調査項目・検体はすべて既存のものであり、データ上すべての患者さまは匿名化され、名前・住所・電話番号なおプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切なく、何らかの負担が生じることもありません。また一人ひとりの病気の状況を発信することはありません。解析後のデータは安全にかつ完全に破棄されます。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 帝京大学医学部内科学講座 教授 内田 俊也

住所: TEL:03-3964-2111 (代表) [モバイル 7388]